

2023・10・4【おでん】1-2 選44句

12行3段組14ポ BIZ 明朝 Wed 太 2023年10月4日 09:36 ↑ 桐10

日めくりも寂しくなりぬおでん酒

おでん屋の前を通りぬ通夜帰り

貧しさと違ふ寂しさおでん酒

この辺のおでん屋の灯の四角なり

おでん屋の壁の品書き湯気の中

雪を来し人の饒舌おでん酒

おでん屋が寝座へ帰る風の夜

おでん屋に雪降る夜の静けさよ

おでん屋の屋根が階下に見ゆるかな

おでん屋の小さな屋根も積り初む

おでん屋の静かな夜に粉雪まふ

街灯の他はおでんの灯が一つ

松過の雪舞ひ初めしおでん酒

灯を消しておでん屋帰る雪の夜

おでん屋に雪を払ひて入りけり

おでん屋のいつもの場所に雪ふりつむ

雪の夜に一つ点りしおでんの灯

雪の夜のおでん屋は灯を一段と

もれいづる光と声とおでんの香

酔へば良くしやべることよのおでん酒

おでん屋の背後を通る灯の電車

おでん屋が明日の試合に早仕舞

おでん屋の裏へ廻りし刑事二人

じゃんけんにかけておでんを買ひに行く

遅番に後は任せておでんかな

おでん屋の暖簾が背ナを庇ふかに

おでん屋を守るが如く背が並ぶ

おでんの具一廻りしてさてそこで

自らの出汁も効かせておでんの具

これしきのおでんの酒に酔ひつづれ

おでん酒おでんの人に寄り添ひぬ

おでん酒おでんを食へば捗りぬ

おでん酒ぐびぐび飲んで寝るとせむ

息災やおでんの中のゆで卵

ぷかぷかとおでんに遊ぶ茹卵

おでん屋の辛子の籠も見慣れたる

まてん屋に 12:3 金と倍りれば 6:43am
おでん屋に 5:2 am
おでん屋に 7:5am
おでん屋に 12:1
まてん屋に 7:5am

雪に消えんとす
おでん屋に
12:3 5:55 am

トイカテ
雪を消す
10:4
17:37

屋
10:4
17:38

おでん屋のビニール囲ひははと

裏門をどつと出て来ておでんかな

おでん屋の壁の品書き赤と黒

おでんの香乗せて回送電車なり

おでん屋の種を豊かに港町

おでん屋のテレビに「地球最後の日」

おでん屋のテレビにニュース速報が

今年あと残すところのおでんの灯

に屋の扉は まさよまこん始に、じり 6:37 am

りつもの屋の・屋の乗りこぬ

おでん屋のゆのまといふへい

おでん

10.12.6:27 am

おでん屋のけいはいま戻り始とよ

6:30 am

2023・12・5【全然堂歳時記 冬【おでん1-2】】 選40句

17行3段組14ポ 2023年12月5日 09:30へ1 桐10

日めくりも寂しくなりぬおでん酒

おでん屋の背後を通る灯の電車

これしきのおでんの酒に酔ひつづれ

おでん屋の前を通りぬ通夜帰り

じゃんけんにかけておでんを買ひに行く

おでん酒おでんの人に寄り添ひぬ

貧しさと違ふ寂しさおでん酒

おでん屋が明日の試合に早仕舞

おでん酒おでんを食へば捌りぬ

今年あと残すところのおでんの灯

おでん屋の裏へ廻りし刑事二人

おでん酒ぐびぐび飲んで寝るとせむ

雪を来し人の饒舌おでん酒

残業の人も来りておでん酒

ぷかぷかとおでんに遊ぶ茹卵

おでん屋に雪を払ひつ入りけり

遅番にちと差入のおでんかな

息災やおでんの中のゆで卵

おでん屋の屋根が階下に見ゆるかな

主役にはなれぬ白滝おでん酒

おでん屋の辛子の籠も見慣れたる

おでん屋の小さな屋根も積り初む

おでん屋の出戻りの娘に通ふなり

おでん屋のビニール囲ひごはごはと

街灯の他はおでんの灯が一つ

おでん屋を守るが如く背が並ぶ

おでん屋を出て差す傘におでんの香

灯を消して霧に消えゆくおでん屋よ

蒟蒻の効能を説くおでん酒

この橋のたもとの柳おでんの灯

もれいづる光と声とおでんの香

おでんの具一廻りしてきてそこで

裏門より徒歩1分のおでん酒

酔へば良くしやべることよのおでん酒

自らの出汁も効かせておでんの具

おでん屋の壁の品書き赤と黒

おでん屋の(18)年(23)年の(12)月 R?

12.10 23:20

(7) 全了 12.10 23:20

赤丸跡のお品書きは12.10 23:15

2023・12・5【全然堂歳時記 冬【おでん1-2】】 選40句

おでんの香乗せて回送電車なり

新橋に黒き機関車おでんの灯

おでん屋の種を豊かに港町

おでん屋のテレビに「地球最後の日」